

第68回情報技術検定試験

※青字下線部にカーソルを合わせクリックすると関連ページへ移動します。

「ゆうちょ料金新設・改定」に伴う本協会の対応について

2022年1月17日（月）から、ゆうちょ銀行の一部サービスの料金が新設・改定されました。

本件につきましては、第429回理事会及び令和3年度第2回代表校長研究協議会においてお伝えしたとおり、**現金でのお支払いの場合にかかる加算料金や手数料につきましては、本協会ではご負担いたしかねます。**

各種料金のお支払いの際は、十分にご注意のほどお願いいたします。

なお、本件に係る詳細につきましては、ゆうちょ銀行に直接お問い合わせください。

<本件に係るゆうちょ銀行の案内ページ>

https://www.jp-bank.japanpost.jp/news/2021/news_id001686.html

1. [第68回情報技術検定試験 実施要項](#)
2. [第68回情報技術検定試験 実施手順](#)
3. [「情報技術検定試験標準問題集」について（ご案内）](#)
4. [本協会発行問題集注文時の注意事項](#)
5. [情報技術検定試験標準問題集 注文書](#)
6. [教室掲示用の文書](#)

文部科学省後援

第68回 情報技術検定試験実施要項

1. 主 催 公益社団法人 全国工業高等学校長協会
2. 目 的 工業技術者として必要な基礎的情報技術に関する知識と技能が習得されているかを検定する。
3. 実 施 日 **令和4年6月24日（金）** ※ 実施日は指定です。
4. 実 施 会 場 受検を希望する学校
5. 受 検 資 格 在校生、及び会場校責任者が認めた者
6. 検 定 種 別 1級、2級、3級
7. 検 定 料 1級：800円（税込）、2級：600円（税込）、3級：600円（税込）
8. 検定実施手順 ※WEB上での「申込」・「報告」の詳細につきましては[「WEB入力手順」](#)をご確認ください。

①受 検 申 込 受検者を確定させ、**4月1日（金）から5月6日（金）**の間に、WEB上から申し込みをする。
※「願書・受検票」用紙を用意してありますので、必要な方は[ダウンロード](#)してご利用ください。

②検定料の納入 **5月13日（金）**までに以下の2つの方法のいずれかで送金をする。

◎**4月1日付けで学校長宛に送付した**、第68回情報技術検定試験用の「払込取扱票（払込料金加入者負担 *1）」（赤色）を用いての送金（この場合に限り、送金手数料は主催者が負担する）

※「**払込取扱票（払込料金加入者負担）**」（赤色）は再発行することはできません。

*1 ゆうちょ銀行のサービス料金の新設・改定に伴い、赤色の郵便振替用紙を用いても、**現金でお支払いの場合は、加算料金や手数料がかかります。**この加算料金や手数料につきましては、**本協会ではご負担いたしかねます。**お支払いの際は、十分にご注意のほどお願いいたします。
なお、本件に係る詳細につきましては、ゆうちょ銀行に直接お問い合わせください。

◎以下の郵便口座または銀行口座へ学校側が送金手数料を負担した上での送金（お送りした払込取扱票の紛失や追加して送金したい時はこちら）

口座名義（各口座共通）：公益社団法人全国工業高等学校長協会

郵便口座：00160-4-96148 / 銀行口座：りそな銀行 九段支店（普）134674

※郵便局に備え付けの青色の払込取扱票（払込料金払込者負担）を用いる際は、通信欄に必ず検定名・学校番号を明記しておいてください。

※「ネットバンキング」や「ゆうちょダイレクトサービス」等を使用してお支払の際は、「学校名+検定名」（例：チダコキョウコウ ジョウ）をご入力くださいますようお願いいたします。

※納入いただいた検定料は、**いかなる理由があっても返金できません。**
金額を誤って送金しないようご注意ください。

※金融機関発行の振込明細書をもって領収書に代えさせていただきます。
※検定料に係わる見積書、請求書は発行しておりません。必要な場合は本実施要項をもって各帳票の代わりとしてください。

③検定の実施

試験問題が実施日の1週間前を目途に送られてくるので、別紙の「[情報技術検定試験実施手順](#)」により厳正に実施する。

⑤試験結果報告

令和4年7月8日（金）までに結果を集計し、WEB上から報告をする。

※合格者がいなかった場合は、受検者数のみ入力してご報告ください。

※合格者の名簿は、各学校で印刷して保管しておいてください。

※**特別表彰候補者がいる場合は**、WEB上から合格者を報告する際の備考欄に「**特別**」と入力し、答案用紙の**原本を本協会に郵送してください。（7/8×切）**

【答案用紙の送付先】 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-8-1

公益社団法人 全国工業高等学校長協会 宛

※**1級の種目合格については、[I][II]ともに合格した時点で報告する。**

（得点は種目合格時の得点を入力し、備考欄に以前合格した検定の回を「**第〇回**」と入力する。[I]または[II]のみの合格者は、報告は不要なので、点数を学校で**確実に保管しておくこと**）

⑥合格証書

合格者には合格証書を交付する

（合格証書の氏名・生年月日は学校で記入する。[合格証書印刷例](#)）。

なお、認定日は試験結果報告期限日の**7月8日（金）**とする。

※合格証書は、到着後、直ちに部数の確認をしてください（不備・不足の場合は必ず**1ヶ月以内**にご連絡ください）。

※合格証書は速やかに記入・作成し、**必ず年度内に合格者に交付してください**（年度を越えて、合格証書の氏名や生年月日に誤りがあることが判明しても、再交付はできません）。

9. その他

◇[教室掲示用の文書（A4判）](#)をご用意してありますのでご利用ください。

◇申し込みは学科ごとではなく学校で一括してお申し込みください。

◇**検定問題到着後、直ちに級・部数を確認し、その後は鍵のかかる金庫等で試験開始直前まで、問題の漏洩等がないよう厳重に管理ください。**

◇同一人が異なる級の受検を希望した場合（3級と2級、2級と1級）は会場校で問題の漏洩等に十分配慮の上、時間をずらして実施するのは可能です。

（その際、受検番号は別々の異なるものを登録してください）

しかし、同じ級で複数のプログラム言語の同時受検は不可といたします。

◇**検定試験実施後は問題・答案を速やかに回収し、実施日以降1ヶ月間は学校に保管するよう徹底してください。**

◇**実施結果**は全工協会WEBページに掲載いたします。

10. お問 合 せ

本協会WEBサイトの「[<検定Q&A>よくあるお問合せ](#)」をご確認ください。

本協会ホームページ <https://zenkoukyo.or.jp/>

→ 検定試験・学力テスト

→ [<検定Q&A>よくあるお問合せ](#)

※「<検定Q&A>よくあるお問合せ」を見ても解決できない場合は、お手数ですが、本協会ホームページ上部の「[お問い合わせフォーム](#)」からお問い合わせください。

情報技術検定試験担当：大谷 貴子

TEL 03-3261-1500 FAX 03-3261-2635

E-mail:otani@zenkoukyo.or.jp

文部科学省後援

第68回情報技術検定試験実施手順

1. 試験内容・時間・配点

3級・2級は100点満点、1級は200点満点

3級 検定 の 内容	1. コンピュータと社会 2. 数の表現と論理 3. コンピュータの構成と利用 4. アルゴリズム 5. プログラム作成能力 (JIS Full BASIC, C 言語から選択) (ただし、繰返し処理は FOR 文のみとする)	試験時間 50分 配点 100点
2級 検定 の 内容	1. 数の表現と演算 2. 論理回路 3. ハードウェアの知識 4. ソフトウェアの基礎 5. コンピュータの利用 6. アルゴリズム 7. プログラム作成能力 (JIS Full BASIC, C 言語から選択)	試験時間 50分 配点 100点
1級 検定 の 内容	I. ハードウェアの知識 1. 数の表現と処理 2. コンピュータの基本回路 3. コンピュータの基本構成と各部の働き 4. 通信 5. ソフトウェアの基礎 6. その他の情報関連知識	試験時間 50分 配点 100点
	II. プログラミングの基礎知識 7. アルゴリズム 8. プログラム作成能力 (C 言語)	試験時間 50分 配点 100点

3級 情報処理技術入門者向け (JIS Full BASIC, C 言語から選択)

2級 情報処理技術中級者向け (JIS Full BASIC, C 言語から選択)

1級 「基本情報技術者試験」の受験希望者向け (C 言語)

[注] 1. プログラム言語は次のものを用いる。

(1) BASIC は JIS Full BASIC

(2) C 言語は ANSI, JIS 準拠

2. 論理記号は旧 MIL 記号を用いる。

3. ポケコン・電卓等の使用は不可。

2. 採点 学校ごとに定める委員会で、別に定める採点基準により行う。
3. 合否決定 学校ごとに定める委員会で審査し、学校長が決定した後、結果を期限までにWEB上から報告する。
但し、合格基準は1級ではIとIIの両方とも70点以上、2級・3級では70点以上得点した者とする。また1級の成績優秀者については特別表彰を行う。
4. 種目合格 a) 1級については不合格であっても、[I][II]いずれかの種目が70点以上の場合、該当種目を「種目合格」とする。**(この場合は報告しない。学校内にて点数を確実に保管しておく)**
b) 種目合格は、学校ごとに定める委員会で管理する。
c) **種目[I][II]の両方が合格した時点で、1級の合格者として報告する。**
d) WEB上で合格者を報告する際、[I][II]の得点欄には**合格時点の得点を入力し、備考欄に以前合格した検定の回を「第〇回」と入力する。**
e) 種目合格の有効期限は、当該生徒の在学期間内とする。
f) 種目合格者が再度受検する場合は、**以前合格していない種目のみの受検とする。**
その際には通常受検者と同時刻に当該種目を受検させなければならない。(特別な受検時間を設けて種目合格者のみを受検させてはならない)
g) 1種目のみの受検であっても受検料は変更しない。
5. 特別表彰 1級の[I]と[II]の合計点が、1回の検定試験で190点以上の受検者は特別表彰の候補となる**(種目合格者は該当しない)**。
(過去に1級を受検・合格した生徒も、特別表彰にチャレンジする為に再度受検することは可能である)
WEB上で合格者を報告する際は、備考欄に「特別」と入力する。
候補者の答案(原本)を、7月8日(金)までに郵送して申請すること。(WEB上で「特別」と入力しても、答案を郵送しないと申請したことにはなりませんのでご注意ください)
※必ず答案の欄外に学校番号と学校名を記入する。
【答案用紙の送付先】 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1
公益社団法人 全国工業高等学校長協会 宛
7月8日(金)までに届いた答案を、後日問題作成委員会で審査し、認められた場合は表彰者へ賞状と記念品が贈られる。
6. その他 a) 受検する級、言語の間違いがないように、申込みの際には確実に把握してからお申し込みください。
(WEBにて申込み後に届く自動送信のFAXの内容をよくご確認ください。**変更する場合には申込締め切り日の5月6日(金)までは再入力が可能です**)
b) 受検番号は実施校で任意の番号を設定すること。
c) 2、3級の試験問題の冊子は言語別に分かれていない為、言語の選択を間違えないように、試験開始時に注意を促してください。

情報技術検定試験標準問題集について（ご案内）

（公益社団法人 全国工業高等学校長協会編集・発行）

本協会では平成19年度より情報技術検定試験に対応した標準問題集を発刊しております。本書が多くの受検者に活用され、日頃の情報技術の学習や検定資格取得にお役立ていただければ幸いです。

〔構成と配慮点〕

- (1) ① 3級情報技術検定試験標準問題集
科目「工業情報数理」で扱う程度の基礎的な事項の学習者
- ② 2級情報技術検定試験標準問題集
情報技術ならびに情報処理を学ぶ中級程度の学習者
- ③ 1級情報技術検定試験標準問題集
経済産業省「基本情報技術者試験」の受検も目指している上級程度の学習者
- (2) 受検者の自学自習の便を図るため、それぞれの章に要点を入れる。
- (3) 例題と解答要領を入れる。
- (4) 練習問題と章末問題を入れる。
- (5) 巻末には前年度2回分の過去問題と解答を付ける。

〔その他〕

- (1) 標準問題集は、上記の3冊（公益社団法人 全国工業高等学校長協会編集・発行）となっております。内容ならびに定価（税込）は次項の通りです。
- (2) 申込方法：（別紙）注文書に必要事項をご記入のうえ、本協会宛 FAX にてご注文承ります。
代金納入：問題集着荷後、同封されている請求書に基づきお支払いください。
お支払いは、請求書と共にお送りする問題集専用の赤色払込取扱票（払込料金加入者負担^{*}
¹）をご利用ください。（銀行振込の場合の送金手数料は学校でご負担の上「りそな銀行 九段支店・普通預金口座No.164374」へお願いいたします）

*1 ゆうちょ銀行のサービス料金の新設・改定に伴い、赤色の郵便振替用紙を用いても、**現金でお支払いの場合は、加算料金や手数料がかかります。**この加算料金や手数料につきましては、**本協会ではご負担いたしかねます。**お支払いの際は、十分にご注意のほどお願いいたします。なお、本件に係る詳細につきましては、ゆうちょ銀行に直接お問い合わせください。

※「ネットバンキング」や「ゆうちょダイレクトサービス」等を使用してお支払の際は、「学校名＋請求書No.」（例：チヨダコウギョウカウコウ IT2022〇〇〇）をご入力くださいますようお願いいたします。

その他：別紙の[＜問題集注文時の注意事項＞](#)を必ずご確認の上、ご注文ください。

特に返本・交換には対応できませんので、注文冊数・申込問題集等に間違いがないことを必ずご確認の上、ご注文ください。

3 級編

<p>1. コンピュータと社会 2. 数の表現と論理 3. コンピュータの構成と利用 4. アルゴリズム 5. プログラム作成能力 (JIS Full BASIC, C 言語から選択)</p>	<p>情報化社会, 情報モラルと管理 2進数・16進数, 論理回路の基礎 コンピュータの構成, 周辺装置, ソフトウェアの基礎, コンピュータ用言語, マルチメディア, コンピュータネットワーク 直線型, 分岐型, 繰り返し型, トレース データの入出力と計算, 制御文 (ただし, 繰り返し処理は FOR 文のみとする)</p>	<p>A4 判 1,360 円</p>
--	---	-------------------------

2 級編

<p>1. 数の表現と演算 2. 論理回路 3. ハードウェアの知識 4. ソフトウェアの基礎 5. コンピュータの利用 6. アルゴリズム 7. プログラム作成能力 (JIS Full BASIC, C 言語から選択)</p>	<p>数の表現, 2進数の演算 論理回路と論理式, コンピュータの基本回路 コンピュータの基本構成, コンピュータの基本動作, 周辺装置 ソフトウェアの構成, ソフトウェアの関連知識 マルチメディア, ネットワーク, コンピュータ制御 流れ図の基本形, 多分岐型, 多重ループ, トレース, サブルーチン, 配列, 探索, 並べ替え データの入出力と計算, 制御文, 配列, サブルーチン</p>	<p>A4 判 1,570 円</p>
--	--	-------------------------

1 級編

<p>I. ハードウェアの基礎知識 1. 数の表現と処理 2. コンピュータの基本回路 3. コンピュータの基本構成と各部の働き 4. 通信 5. ソフトウェアの基礎 6. その他の情報関連知識</p>	<p>情報量, 数の表現, 正の数・負の数, 固定小数点形式と浮動小数点形式, データの表し方, 論理演算 基本論理回路と論理式, 演算回路, フリップフロップを応用した回路, エンコーダ・デコーダとマルチプレクサ・デマルチプレクサ, インタフェース回路 基本構成, 中央処理装置, 主記憶装置, 補助記憶装置, 入出力装置 通信方式, インターネット向けのブロードバンドサービス オペレーティングシステム, プログラム言語, アプリケーションソフトウェア, ソフトウェアの開発 情報技術と社会, ネットワーク, 情報処理システム, マルチメディア, 情報化の課題</p>	<p>A4 判 1,780 円</p>
<p>II. プログラミングの基礎知識 7. アルゴリズム 8. プログラム作成能力 (C 言語)</p>	<p>並べ替え, 探索, 順位付けと度数分布, 漸化式, 簡単なアルゴリズム, 代表的なアルゴリズム, 定積分のアルゴリズム, 根を求めるアルゴリズム 応用的なプログラム, 各種アルゴリズム</p>	

《 問題集注文時の注意事項 》

- [返本・交換]** **返本・交換には対応できません。** 注文冊数・申込問題集等に間違いがないことを必ずご確認の上ご注文ください。
- [注文方法]** ご注文はメールまたはFAX（送付状不要）にてお願いいたします。注文書は別紙をダウンロードしてお使いください。
- [献本]** 問題集の種類ごと30冊につき1冊を献本いたします。書店経由の申込には献本はつきません。
- [送料]** 学校から直接本協会にお申し込みの場合、送料は協会が負担いたします。
- [支払方法]** 代金の支払いについては、問題集に同封する赤色の払込取扱票（払込料金加入者負担^{*1}）をお使いください。なお、銀行その他の方法による代金振込等は注文者負担とさせていただきます。

*1 ゆうちょ銀行のサービス料金の新設・改定に伴い、赤色の郵便振替用紙を用いても、**現金でお支払いの場合は、加算料金や手数料がかかります。**この加算料金や手数料につきましては、**本協会ではご負担いたしかねます。**お支払いの際は、十分にご注意のほどお願いいたします。
なお、本件に係る詳細につきましては、ゆうちょ銀行に直接お問い合わせください。

※「ネットバンキング」や「ゆうちょダイレクトサービス」等を使用してお支払の際は、「学校名+請求書No.」（例：〒100-0001 東京都千代田区千代田 IT2022〇〇〇）をご入力くださいますようお願いいたします。

- [最新情報]** [最新情報](#)は本協会WEBページで随時更新しております。問題集に訂正がある場合は[正誤表も掲載](#)してありますのでご確認ください。
- [その他]** そのほか確認したいことがありましたら、担当者宛にメールで確認するか、[「お問い合わせフォーム」](#)からお問い合わせください。

◇情報技術検定検定問題集のみの注文書は→[ここからダウンロード](#)

◇本協会発行問題集の一括注文書は →[ここからダウンロード](#)

文部科学省後援

情報技術検定試験 標準問題集 注文書

公益社団法人 全国工業高等学校長協会 宛

月 日

※学校番号は、本協会HP - 協会案内 - 『会員校 学校番号・ホームページ一覧』に掲載してあります。

学校番号		学校名	
所在地	〒		
電話番号		担当者 所属・氏名	

下記のとおり注文します

必要な場合は✓を入れてください 見積書
 (請求書と一緒に送付します) 納品書

FAX 03-3261-2635 ※送付状不要

書名 (令和4年度版)	注文数	単価(税込)	備考
1級 情報技術検定試験 標準問題集	冊	1,780円	
2級 情報技術検定試験 標準問題集	冊	1,570円	
3級 情報技術検定試験 標準問題集	冊	1,360円	
合計	冊	円	

《注意》

- ※ 返本は受け付けておりません。
級・冊数の記入ミスが無いようご確認のうえ、ご注文下さい。
- ※ 送料は、学校から本協会に直接ご注文の場合、協会が負担いたします。
その他のご注文は20冊以上ご注文の場合のみ協会が負担いたします。
- ※ 1回のご注文で各級30冊ごとに1冊献本いたします。
ただし、書店を経由する際は献本はありません。
- ※ 代金のお支払いは問題集に同封する赤色払込取扱票(払込料金加入者負担 *1)をお使い下さい。

* 1 ゆうちょ銀行のサービス料金の新設・改定に伴い、赤色の郵便振替用紙を用いても、現金でお支払いの場合は、加算料金や手数料がかかります。この加算料金や手数料につきましては、本協会ではご負担いたしかねます。お支払いの際は、十分にご注意のほどお願いいたします。なお、本件に係る詳細につきましては、ゆうちょ銀行に直接お問い合わせください。

【振替払込請求書兼受領証】をもって領収書に代えさせていただきます。

- ※ ご注文はFAXでお願いいたします。(送付状不要)
- ※ 最新情報は本協会WEBページで随時更新しております。
問題集に訂正がある場合は正誤表も掲載してありますのでご確認ください。

(協会処理欄)

請求番号	発送月日

令和4年度 第68回情報技術検定試験

1. 主催 公益社団法人 全国工業高等学校長協会
2. 目的 工業技術者として必要な基礎的情報技術に関する知識と技能が習得されているかを検定する。
3. 実施日 令和4年6月24日(金)
4. 会場 本校 ()
5. 試験方法 筆記試験による検定。
6. 検定料 3級・600円(税込) 2級・600円(税込) 1級・800円(税込)
7. 受検手続 検定料をそえて申し込むこと。

【 月 日 () までに 先生に申し込む 】

8. 内容・時間・配点 3級・2級は100点満点 1級は200点満点。

3級 検定 の 内容	1. コンピュータと社会 2. 数の表現と論理 3. コンピュータの構成と利用 4. アルゴリズム 5. プログラム作成能力 (JIS Full BASIC, C 言語から選択) (ただし、繰り返し処理は FOR 文のみとする)	試験時間 50分 配点 100点
2級 検定 の 内容	1. 数の表現と演算 2. 論理回路 3. ハードウェアの知識 4. ソフトウェアの基礎 5. コンピュータの利用 6. アルゴリズム 7. プログラム作成能力 (JIS Full BASIC, C 言語から選択)	試験時間 50分 配点 100点
1級 検定 の 内容	I. ハードウェアの知識 1. 数の表現と処理 2. コンピュータの基本回路 3. コンピュータの基本構成と各部の働き 4. 通信 5. ソフトウェアの基礎 6. その他の情報関連知識	試験時間 50分 配点 100点
	II. プログラミングの基礎知識 7. アルゴリズム 8. プログラム作成能力 (C 言語)	試験時間 50分 配点 100点

3級 情報処理技術入門者向け (JIS Full BASIC, C 言語から選択)

2級 情報処理技術中級者向け (JIS Full BASIC, C 言語から選択)

1級 国家試験「基本情報技術者試験」の受験希望者向け (C 言語)

[注] 1 プログラム言語は次のものを用いる。

(1) BASIC は JIS Full BASIC

(2) C 言語は ANSI, JIS 準拠

2 論理記号は旧 MIL 記号を用いる。

3 ポケコン・電卓等の使用は不可。

9. 合格基準 3級・2級は70点以上、1級はI・IIとも70点以上。

合格基準に達した場合は合格証書を授与する。

10. 特別表彰 1級の合計点数が190点以上となり、本協会の審査を通過した者は特別表彰者となる。

主催者申込期限 5月6日(金)

教室掲示用